

芸術工学会 Google Workspace 導入について

提案日: 2026年X月X日

提案者: 理事 馬頭 亮太

1. 背景と目的

現在、当学会のWebおよびメール運用はWADAXサーバーを利用中ですが、運営に関するファイルやドキュメント等の情報管理の効率化の観点に課題が残っています。

独自ドメイン（sdafst.or.jp）を活かしたまま、法人向けクラウド基盤「Google Workspace」を導入し、運営情報の管理体制を強化することを提案します。

2. Google Workspace で実現すること（導入メリット）

導入により、主に以下の3点が実現・改善されます。

① 組織としてのファイル管理（Google ドライブ）

- 共有ドライブの活用:** 「理事会」「事務局」などのフォルダを作成し、学会のデータを一元管理します。個人のPCや無料ストレージではなく、学会のアカウントに紐づくため、理事交代時のデータ引き継ぎがスムーズかつ確実になります。
- セキュリティ:** 権限設定により、関係者のみがアクセスできる環境を構築できます。

② 独自ドメインメールの利便性向上（Gmail）

- 学会の独自ドメイン（@sdafst.or.jp）を、使い慣れたGmailの画面で利用できます。
- 強力な迷惑メールフィルタとセキュリティ機能により、なりすましメール対策（SPF/DKIM対応）も強化され、社会的信頼性が向上します。

③ 必要アカウント数に応じて自在な運用が可能

- 必要最低限のアカウント数から開始し、運営状況に合わせて柔軟に活用範囲を広げることが可能です。

3. メール環境の移行について（技術的側面）

現在のWebサイトサーバー（WADAXサーバー）から新規サーバーへの移行とあわせて、メール機能のみをGoogle Workspaceへ切り替えることも検討できます。

項目	現状 (WADAX)	移行後 (Google Workspace)
メールソフト	各個人のPC設定に依存	ブラウザ(Gmail)やアプリでどこでも利用可
データ容量	サーバー契約に依存	1ユーザーあたり30GB～（プランによる）
管理	アドレス追加等が煩雑	管理画面から容易に発行・停止が可能

【移行に関する重要注意事項】

- ・ **切り替えのタイミング:** 設定変更がインターネット上に反映されるまで最大48時間のタイムラグが発生する可能性があるため、メール送受信の少ない週末（土曜夜など）に切り替え作業の実施を推奨します。
- ・ **過去データの扱い:** WADAXサーバー内の過去メールは自動では移行されません。移行作業前に各自でバックアップを取り、新環境では新規メールから運用を開始します。
- ・ 現在使用中のメールアドレス（XXX@sdafst.or.jp）の洗い出しが必要です。

4. 費用・契約プラン（非営利団体優遇の活用）

当学会は一般社団法人であり、定款により「非営利型」の要件（剰余金の分配禁止、残余財産の帰属先等）を満たしているため、Googleの非営利団体向け支援プログラムの対象となる可能性が高いです。

推奨：Google Workspace for Nonprofits

- ・ **月額費用:** 0円（通常 680円/人～）
- ・ **アカウント数:** 上限なし（アカウントは自在に増減、運用可能）
- ・ **条件:** Goodstack経由での事前の認証審査が必要。

※万が一、審査基準を満たさなかった場合は、通常の「Business Starterプラン」（月額680円/人 × 5名 = 月額3,400円程度）での導入となります。

5. 導入に向けた具体的なステップと準備物

申請・導入は以下の手順となります。

1. Google for Nonprofits への直接申請

- 公式サイト (<https://www.google.com/intl/ja/nonprofits/>) の「使ってみる」から申請します。
- **【重要】** 定款の準備について:
申請には定款の提出が求められます。現在Webサイトで公開されているものはHTML形式ですが、審査には「原本（または押印のある写し等）のPDFデータ」が必要です。事務局にて保管されているPDFデータの確認・準備をお願いします。

2. 認証機関（Goodstack）への書類提出

- 申請後、Googleの認証パートナーであるGoodstack社からメールで連絡が来ます。
- **【重要】** ここで「定款（PDF）」の提出が求められますので、事前にご準備ください。

3. Google Workspace アカウント開設

- 審査通過後（数日～2週間程度）、専用管理画面から利用登録を行います。

4. WADAX DNS設定変更

- メールサーバーの向き先をGoogleへ切り替えます。

5. Google Workspace 運用開始

補足.1) Google Workspaceにマスター権限のあるアカウントを新規作成（例：admin@のような新規アカウント）を作成した後に、board@/secretary@/secretary2@/secretary-g@など既存の独自ドメインアカウントを招待します。必要に応じて新たに追加も可能です。また、既存のメールのやり取りについては、メールソフト側の設定を再度変更*していただく必要があります。

*メールサーバーはGmailに移行しますが、独自ドメイン（@sdafst.or.jp）を使用するので、対外的なメールの送受信におけるメールの見え方は何も変わりません。

